

新年の部

No.	作句年	部	俳句	季語	分類
1	明治27年	新年の部	東三省王の元日晴れたりな	元日	時候
2	明治27年	新年の部	元日の月代青き捕虜かな	元日	時候
3	明治27年	新年の部	赫奕と画棟の初日龍動く	初日	天文
4	明治27年	新年の部	初日出や清涼殿の御屏風	初日	天文
5	明治27年	新年の部	金鞍の登城まばゆき初日かな	初日	天文
6	明治27年	新年の部	猿引の猿と寝てゐる木賃かな	猿廻し	人事
7	明治27年	新年の部	やり羽子や妻戸あけたる京女	羽子板	人事
8	明治27年	新年の部	藪入のかゝれとてしも念佛かな	藪入	人事
9	明治27年	新年の部	のりものゝ簾かゝげて若菜かな	若菜	植物
1011	明治30年	新年の部	屠蘇と云ふなるは草根木皮かな	屠蘇	人事
1815	明治31年	新年の部	塀側の手毬つくべく乾きたる	手毬	人事
1816	明治31年	新年の部	学校に手毬赤きが多きかな	手毬	人事
1817	明治31年	新年の部	妹の姉は縫ひ居る手毬哉	手毬	人事
1818	明治31年	新年の部	境内や日當る方に手毬賣	手毬	人事
1819	明治31年	新年の部	窓の日や手毬の唄の夢心	手毬	人事
1820	明治31年	新年の部	凡そ元旦ばかり嬉しきはなし	元旦	時候
1821	明治31年	新年の部	元日の納言参議年わかき	元日	時候
1822	明治31年	新年の部	元日の一門悉く列太夫	元日	時候
1823	明治31年	新年の部	犬の子の三ツ生れたり今朝の春	初春	時候
1824	明治31年	新年の部	元日を一子の愚かなるがあり	元日	時候
1825	明治31年	新年の部	暮れんとす雪ともならで二日空	二日	時候
1826	明治31年	新年の部	海山の二日は風となりはげし	二日	時候
1827	明治31年	新年の部	寝さめして正月二日心かな	二日	時候
1828	明治31年	新年の部	里に住で正月二日家に在り	二日	時候
1829	明治31年	新年の部	詩に周南小松引くべく二人かな	小松引	人事
1830	明治31年	新年の部	之子こゝに嫁ぎて摘める若菜かな	若菜摘み	人事
1831	明治31年	新年の部	松の内雪ふりつゞく何の兆	松の内	時候
1832	明治31年	新年の部	家二三松の内とも見えぬかな	松の内	時候
1833	明治31年	新年の部	豊葦原瑞穂の国の雑煮哉	雑煮	人事
1834	明治31年	新年の部	朱の椀や雑煮の一家二十餘口	雑煮	人事
1835	明治31年	新年の部	帰化人の蓬萊かさる今年より	蓬萊	人事
1836	明治31年	新年の部	蓬萊や障子あくれば安房上総	蓬萊	人事
1837	明治31年	新年の部	君が代や刑措いて用ゐず嫁が君	嫁が君	動物
1838	明治31年	新年の部	異名嫁が君と申すはしたなき	嫁が君	動物
1839	明治31年	新年の部	萬歳を犬の見てゐる戸口かな	萬歳	人事
1840	明治31年	新年の部	雲少し薄く初日を拜み得つ	初日	天文
1841	明治31年	新年の部	初日出に雲かゝるべきを拜み得つ	初日	天文
1842	明治31年	新年の部	元日を一天くもり渡りけり	元日	時候
1844	明治31年	新年の部	年男の事未だ學ばざるなり	年男	人事
2680	明治32年	新年の部	蓬萊にちご這ひ出でし蜜柑か那	蓬萊	人事
2681	明治32年	新年の部	桃咲くや女の子の多き妾腹	桃	植物
2682	明治32年	新年の部	花の如きめの子生れし祝ひか那	花	植物
2683	明治32年	新年の部	葦蒲公英子をいつくしむめをと哉	雑	雑
2684	明治32年	新年の部	子はなくて雛も飾らず暮れにけり	雛	人事
2685	明治32年	新年の部	元日に子供の多き夫婦か那	元日	時候
2686	明治32年	新年の部	塗盆や林檎捧ぐる女の童	林檎	植物
2687	明治32年	新年の部	紫蘇摘むで笊紫や女の子	紫蘇	植物
2688	明治32年	新年の部	人の子は幟立てたることしか那	幟	人事

新年の部

No.	作句年	部	俳句	季語	分類
2689	明治32年	新年の部	子を抱いて女拝むやお月様	月	天文
2690	明治32年	新年の部	輪飾に暁の風吹く戸口か那	注連飾	人事
2691	明治32年	新年の部	わかさりのさゝやかなるを飾りけり	注連飾	人事
2692	明治32年	新年の部	初鳥水汲にゆく神の井戸	初鳥	動物
2693	明治32年	新年の部	初鳥飛んで行きけり江の東	初鳥	動物
2694	明治32年	新年の部	二階かりて羽子板の画などかいてゐる	羽子板	人事
2695	明治32年	新年の部	羽子板の江戸はちりめん細工かな	羽子板	人事
2696	明治32年	新年の部	福引に一夜さゞめく屋形かな	福引	人事
2697	明治32年	新年の部	福引に芽出たきものを引きあてし	福引	人事
2698	明治32年	新年の部	歯朶青く福藁五尺あまりか那	雑	雑
2699	明治32年	新年の部	山草のさやかに青し神の棚	雑	雑
2700	明治32年	新年の部	大雪の峠越えたる物語り	雪	天文
2701	明治32年	新年の部	大雪の城下夜明けし烟か那	雪	天文
2702	明治32年	新年の部	濱風や小石にまじる蛎の殻	蛎	動物
2703	明治32年	新年の部	磯村やかきから光る夜半の月	蛎	動物
2704	明治32年	新年の部	袴はいて宮の煤掃く男か那	煤拂	人事
2705	明治32年	新年の部	煤掃の日暮れて帰る主人か那	煤拂	人事
2706	明治32年	新年の部	いさゝかの蕪も引いてしまひけり	蕪引	人事
2707	明治32年	新年の部	蕪引大根引に異ならず	蕪引	人事
2709	明治32年	新年の部	既にして天の岩戸を明の春	初春	時候
2710	明治32年	新年の部	交りは古き頭巾を笑ひけり	頭巾	人事
2711	明治32年	新年の部	元日や取散らしたる古色紙	元日	時候
3785	明治33年	新年の部	此村の子供多さよ松の内	松の内	時候
3786	明治33年	新年の部	年玉を貰ひてやがて寐入りけり	年玉	人事
3787	明治33年	新年の部	羞かしき手毬の唄や物心	手毬	人事
3788	明治33年	新年の部	綱引の跡に落ちたり赤き紐	綱引	人事
3789	明治33年	新年の部	思はずの手を握りけり歌かるた	歌留多	人事
3790	明治33年	新年の部	鮮かにぬひものしたる手毬哉	手毬	人事
3791	明治33年	新年の部	姉妹の蜂に驚く手毬哉	手毬	人事
3933	明治34年	新年の部	若水や名のある井戸の白幣	若水	人事
3934	明治34年	新年の部	親猿は猿曳よりも老いにけり	猿廻し	人事
3935	明治34年	新年の部	鏝鏝としておはしけり謠そめ	謠初	人事
3936	明治34年	新年の部	ころげ行く手毬とまりし芝生哉	手毬	人事
3937	明治34年	新年の部	綱引のみかん撒いたるきそひ哉	綱引	人事
3938	明治34年	新年の部	居籠の人皆いねて水の音	居籠	人事
3939	明治34年	新年の部	抽斗や宝舟買ふ錢五文	寶舟	人事
3940	明治34年	新年の部	うりそめの景物貰ふ子供哉	初売	人事
3941	明治34年	新年の部	初曆小判は黄なる絵紙哉	初曆	人事
3942	明治34年	新年の部	蓬萊のかたへや屠蘇の小杯	雑	雑
3943	明治34年	新年の部	舞そめのトさしまうて疲れけり	舞初	人事
3944	明治34年	新年の部	乗そめの松原出でし一騎哉	乗初	人事
4233	明治35年	新年の部	嫁が君女三の宮を覗きけり	嫁が君	動物
4234	明治35年	新年の部	舞そめや人妬しきかづけもの	舞初	人事
4235	明治35年	新年の部	獨居て謠そめとてうたひけり	謠初	人事
4236	明治35年	新年の部	初鳥雀連歌の姿かな	初鳥	動物
4237	明治35年	新年の部	弾初をすべきわが子の忌日哉	弾初	人事
4238	明治35年	新年の部	女王祿や十三にして歌合	女王祿	人事
4239	明治35年	新年の部	ゆづり葉は神世ながらの緑哉	楪	植物

新年の部

No.	作句年	部	俳句	季語	分類
4240	明治35年	新年の部	初夢のうそついて人を喜ばす	初夢	人事
4241	明治35年	新年の部	若水の如くさやけき心かな	若水	人事
4242	明治35年	新年の部	二三輪梅も小庭の恵方哉	恵方	人事
4243	明治35年	新年の部	門松や館をまかる白柏子	門松	人事
4244	明治35年	新年の部	喰積も獨すまひのさびしくて	喰積	人事
4245	明治35年	新年の部	太箸の太しく成ぬ雑煮腹	太箸	人事
4246	明治35年	新年の部	文臺に倚り試みつ福寿草	福寿草	植物
4247	明治35年	新年の部	もろ／＼の神も遊ばん松の内	松の内	時候
4248	明治35年	新年の部	傀儡師人相わるき思かな	傀儡師	人事